

わくわく地域連携教育だより

下関市教育委員会
第7号
令和6年10月15日

地域連携教育担当者合同研修会

10月7日（月）教育センターで標記の研修会を開催しました。この研修会は、山口県と下関市の共同開催で、対象者は、地域連携担当教職員と地域学校協働活動推進員でした。今回の一番の目的は、「学校・地域連携カリキュラム」を手がかりに地域連携教育の魅力・可能性について考えることです。それでは、参加者107名の熱い学びを紹介します。

行政説明（山口県教育委員会・下関市教育委員会） 20分

地域連携教育で目指す姿として、なぜ「参加とともに参画」が必要なのか、について説明しました。子供の意識調査から、子供たちの地域の一員という意識が低いこと、その意識を高めていくには「自己有用感」を高めていくことが重要であると川中西小や熊野小の地域連携教育の実践も交えながらお伝えしました。そして、最後に地域連携教育の充実に向けて、3点お願いしました。

- ① 学校・地域連携カリキュラムの積極的な活用
- ② 児童生徒や地域住民を交えた話し合い（熟議）
- ③ 推進員のコーディネートによる多様な活動の推進



講義 「地域連携教育の魅力・可能性 ～学校・地域連携カリキュラムを手がかりに～」

講師の和泉宏さん（一般社団法人 motibase 代表理事）からは、地域で育った当事者として、地域連携教育の魅力や可能性を存分に語っていただきました。当事者なので説得力があります。

- 子供は大人をよく見ている（大人が面白がっていたら子供も面白がる）
- 人はその町の魅力（人は人に恩や憧れ、魅力を感じる、人は人に会いにその土地に戻る）
- 「ふるさとが好き」のその先へ（どうにかしたいという当事者意識は、動くことで高まる）

コーディネーターとして意識する3つのポイントは非常にわかりやすいものでした。

① 「知る」

- 相手は、自分ができそうなこと・得意なことを知っているか？
- 自分は、相手ができそうなこと・得意なことを知っているか？
- 相手がどうにかしたいことはなにか？ それはなぜか？

② 「求める」

- 相手にどうしてほしいか求めているか？
- 相手が何を求め/感じ/考えているかを聞いているか？
- 求めている「つもり」になっていないか？

③ 「共に創る」

- 【求める】自分はどうしたい？どうだったらいいと思うか？
- 【知る】相手はどうしたい？どうだったらいいと思うか？
- 一緒にどのような状態を実現したい？（子供の姿、地域・学校の姿）

ペア・グループ
での話し合い



演習 「参加とともに参画へ」～ワークショップを通じて紡ぐ「参画」のあり方～

演習では、言葉（学校教育目標）を言葉で終わらせず、イメージできる具体的な「姿」で共有することが大切というお話から、「参加」や「参画」はどういう姿なのかを出し合いました。「参加」と「参画」の違いがよくわかるので、一部紹介します。

① 「参加」と「参画」はどのように異なるのか

参加・・・出向く、与えられる、決められている、大人が計画、お膳立て、取りあえずそこに居る、その場限り、同調、委ねる、一過性、他人事、受け身、従う、受動、ルール、漠然、習う、お客、手伝い、なすがまま



参画・・・意見の反映、積極的、主体的、企画・運営、ホスト、店主、率先する、選択するより良くする、変容、新しいものを生み出す、目的意識、連続性、協働、持続性工夫、リーダーシップ、メタ認知、反省、役割、時間感覚、自分事、やりがい、試行錯誤、責任、能動、提案、準備、連携

② 「参加」ではなく、「参画」するからこそ子供が得られることとは

自己肯定感、充実感・満足感、地域を愛する心、レジリエンス、自己効力感、挫折・失敗、自己有用感、グループ（集団）の成長、気づく力、思いやり、反省・内省、自己理解、現実社会の厳しさ、協調性、多様性、信頼関係、多角的な視点、期待、新しい自分、一体感、苦勞、連帯感、連絡調整能力、構想力、交渉力、発想力、人間関係の幅、所属感、判断力、コミュニケーション能力、承認、自分への自信、プロセス、自主性・自発性、感謝の心、我慢



③ 中学校区「学校・地域連携カリキュラム」において「参画」を生む（発展させる）余地は

- ・防災教育（避難訓練）についても、小中合同で実施しているので、更に発展できそう
- ・小中合同ウォークラリーがあるが、そこで児童生徒が参画し、発展させていけそう
- ・地区文化祭で、「ふるさと学習」の作品展示とステージ発表の司会や野菜の販売などをする
- ・地域のお祭りにボランティアとして参加するだけでなく、企画や運営にも参画する



研修会をふり返って

「学校・地域連携カリキュラム」を手がかりに地域連携教育の魅力・可能性について、参加者の皆さんに存分に考えていただくことができた研修会となりました。「学校・地域連携カリキュラム」のアップデートを常に図り、より充実した地域連携教育となるよう、これからも情報共有をしていきます。

「わくわく地域連携教育だより」は、生涯学習課 HP にもアップしています。
ご意見・ご感想がある方は、以下のメールへお送りください。
shinnai.toshimasa@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

